

令和6年度 地域学校協働本部事業

川西町立大塚小学校

1 主な支援活動

児童への支援	環境整備への支援	その他の支援
<ul style="list-style-type: none"> ・田植え体験 ・交通安全教室補助 ・昔語り・読み聞かせ ・チョウセンアカシジミ観察 ・体験楽習 ・稲刈り、脱穀体験 ・昔遊び ・スキー教室での指導 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップ球根片付け ・堆肥まき ・ダリア球根選別・植え・世話 ・立木剪定 ・ダリア棚片付け、球根片付け ・チューリップ球根植え ・雪囲い 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア、体験楽習講師との連絡調整

2 予算執行状況

区 分	予 算	支 出	摘 要
コーディネーター活動謝金	270,000	261,000	2月末まで
ボランティア謝金	88,900	85,400	2月末まで
消耗費	35,000	33,871	2月末まで
合計	393,900	380,271	

3 成果と課題

- PTA母親委員会の休止に伴い、子どもたちへの本の読み聞かせを地域学校協働活動の一環として行うことになった。読み手の依頼に苦労はあったものの、地域の方にご協力いただき、予定通り実施することができた。また、子どもたちも読み聞かせや昔語りを楽しみにしている様子が見られた。
- 4月の交通安全教室は、約20名のボランティアの協力を得たうえで実施できている。大塚地区内は道路工事に伴う工事車両の往来や一般車両の交通ルートの変更などがあり、普段から地区全体で児童の安全を見守っていただいている。
- 大塚小学校の特色ある活動である体験楽習は、子どもたちにとって日頃できない経験や地区の方との交流、専門家から教えてもらうことなど、貴重な体験の場となっている。地域の方にとっても学校に足を運ぶよい機会となっており、地域の教育力の向上につながっている。
- チョウセンアカシジミの観察を続けてきた3年生が学習のまとめ発表会を行った。今年度はその様子をケーブルテレビ局や新聞社に取材していただくことができ、本活動の内容や意義を県内に広く周知していただくことができた。
- 天候にも恵まれ、ダリアやチューリップの球根植え、田植え・稲刈り・脱穀体験、スキー教室指導などを予定通り行うことができた。これらの活動を通して、地域とともにある学校づくりに寄与することができた。
- 指導者の固定化、高齢化が大きな課題である。次の世代への指導力の継承とともに、新たな人材の発掘、人材バンクの整備などを行っていく必要がある。

【今年度の活動の様子】

